

2022年度
新採労働学校

仲間との学習と交流を深める
今後の青年女性運動の前進に向けて

11月25日から27日の3日間、東京都において中央本部主催の「2022年度中央新採労働学校」が開催され、全国から新入組合員を含めた97人が結集し、四国地本からも14人が参加しました。この間、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮する中で労働学校の開催についてもWEB形式で行われてきましたが、今回は3年ぶりに全国の組合員が集まるかたちでの開催となりました。



2022年度新採労働学校の全体参加者

【荒牧通信員・青女委】はじめに開校式では、山田・中央本部副執行委員長より「労働学校では、林野労組の歴史をはじめ、各種講座で学習を深め、労働者としての視点・考え方、ものの見方を学んでほしい。また、全国の仲間と顔を合わせる初めての集まりであり、交流を深めてもらいたい」との挨拶がありました。1日目は、衆議院第2議員会館1階多目的会議室において参議院議員の小沢雅仁議員、岸真紀子議員から「労働者、労働組合と政治」をテーマに講義を受けました。お二人それぞれ、JP労組、自治労出身の議員であり、労働組合で運動を行ってきた自身の経験から、労働組合の役割とは環境を作る「空気」のように重要なものであるとの話がありました。その後、国会見学



発行所
高知市丸ノ内
一丁目3の30
全国林野関連労働組合
四国地方本部
TEL821-2238
発行責任者
芹口竜一

当面の日程

- 3/4~6 青年女性春闘学習交流集会(東京都)
- 3/8 人事院四国事務局交渉(高松市)

窓口メモ

- ◇国有限野情報管理システムの見直しの検討について(1/25)
- ◇2022年度10月期及び1月期の遡及昇格について(1/27)
- ◇人材情報統合システムでの身上情報に関する各種申請機能の稼働について(1/26)
- ◇請負事業者等の労働災害発生状況について(1/27)
- (1月末の発生状況)(2/3)
- ◇2023年度林野庁共済組合職員の再任用希望者への条件提示について(2/9)
- ◇公務災害の発生状況(1月期)について(2/10)
- ◇共済組合掛金率の改定について(2/13)
- ◇2022年度下期人事評価の期末評価の実施について(2/17)

を行い、林野会館にて全体交流会が行われました。2日目は、立教大学経済学部の首藤若菜教授より「労働組合とは何か。その役割と課題」をテーマに講義があり、どんなに小さな問題でも労働組合の要求としていくことの重要性や組合員から出される意見や考えを認め合いながら運動へと繋げていくことの大切さを

について学びました。また、林野労組中央本部鳴川書記長より「国有限野事業の歴史と取り巻く状況について」の講座では、林野労組全体の歴史と現在の職場で直面している課題について学びました。その後の分散会では他局・他地本の仲間の声を聞くなど、交流が行われました。午後からは、地本ごとに社会見学として、科学博物館や東京スカイツリー、メイド喫茶といった各々興味のある場所へ行き交流を深めました。3日目は、全労済森林労連共済より共済運動の必要性も含めた病気等への備えなど、これからの生活に役立つ講義が行われました。また、マネートラブルへの対応や労働者のための福祉活動等について中央労働金庫から講座があり、社会人としての基本的な知識について学びました。



国会議員より講座を受ける参加者

新採労働学校に参加しての感想

労働学校へ参加した仲間から感想をいただきましたので掲載いたします。

前田聖人(徳島)

3日間の新採労働学校に参加して印象に残ったことは、2日目の立教大学・首藤教授の講義「労働組合とは何か」その役割と課題についてです。「労働組合とは本来、職場の不満などを拾い、労働組合がワーク・ルールを作っていく

く主体である。」というお話があり、労働組合のあり方について考えを深めることが出来ました。大きな問題をすぐに解決することは難しいですが、小さな問題や不満から解決していくように組合員としての活動もがんばり、より良い職場環境にしていきたいと思いました。

今回の労働学校を通して、組合の仲間と交流を深められたこと、また、労働組合についての知識を深めることができ、とても貴重な経験になりました。

トライキの権利はありませぬが、組織の疑問に声をあげる林野労組のような組織があることで今後の組織構成等に活かせることを身をもって感じた3日間となりました。東京・高尾での研修が中止となり、他地方の同期と交流する場は無いため、若者たちの静かなストライキ」との見解を示す専門家もいる▼当然、日本で暮らす私たちにはわからない様々な苦勞や経験があるだろう。いずれにしても賃金・年金の引き上げ、社会保障をはじめとする国民生活に関わる取り組みが喫緊の課題だ。(とこ)



「日本から飛び出し海外で働いてみたい」そんな風に思ったことがある方もいるのではないだろうか。永住者も含め海外に長期滞在する日本人は2022年、およそ130万人。この20年で6割増加しているという。最近では、安定した職を辞めて海外へ出稼ぎに向かう若者が多くなっているという▼その背景には、経済成長と同時に賃金を上昇させる先進国のトレンドに日本だけが取り残される現実がある。20年以上据え置いた賃金等は、現在の物価高騰に追いつかない状況の中、生きていくための稼ぎや夢を求めて海外へ向かう▼オーストラリアの農場で働く男性は1日6時間の作業で月収50万円。また、介護施設で働く女性はアルバイトを掛け持ちして9か月で270万円貯金し、念願の大学院進学の準備を整えたとの話もあった。生きるためには、海外しかないそういった切実な事情を背負った若者も少なくない。そこには、日本の未来に見切りをつけた若者の本音があるだろう。「労働市場に対する、若者たちの静かなストライキ」との見解を示す専門家もいる▼当然、日本で暮らす私たちにはわからない様々な苦勞や経験があるだろう。いずれにしても賃金・年金の引き上げ、社会保障をはじめとする国民生活に関わる取り組みが喫緊の課題だ。(とこ)

2022年度 新採労働学校

労働組合があるからこそ 職場の労働条件がある

仲間と集まって話し合い行動することが大切

楠瀬博也(香川)

労働学校では、盛りだくさんのプログラムのなかで様々なことを学ばせて頂き

また、交流会や社会見学の同期と交流することが出来る

石本雄大(香川)

同じ局内でも日頃から交流がある訳ではないので、今回の労働学校を通して同期との距離を縮めることができたと思います。

伊佐林里子(香川)

のある他局の職員との交流を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

川村成世(四万十)

当初7月ごろに開催予定だった全国の新規採用者研修が新型コロナウイルスの影響で中止になり、他局の新規採用者の方たちと顔を合わせる機会はないと思っていた中、今回の労働学校でたぐさんの同期たちと関わる事ができたのでよかったです。

田村翔太(嶺北)

今回の新採労働学校にて他局の同期の方々と交流することができ、貴重な時間を過ごすことができました。局ごとの職場の環境や業務内容の微妙な違いについて知るとともに、それゆえ個々が抱えている仕事に対する不安や悩みも多種多様であることを実感しました。

立石将彬(大橋)

労働学校では様々なことが経験できました。初日は議員の講義を聞いたり、組合の方のお話を聞いたりして、正直、あまり興味がわかなかったが、組合としてやるべきことを聞くことが出来たと思います。

森本崇斗(局)

私は組合の活動というものに参加すること自体が今回初めてだったのでとても貴重な経験ができました。初日の議員の方のお話から国会見学、どれも貴重な体験でした。特に国会見学では、建物自体が考えられた構造をしていて、とても美的センスを感じました。交流会では他局の方々と話す機会があり、とても楽しかったです。分散会では、業務における不安などを同期と先輩職員の方と話し合いができたことで交流を持つことができました。

編集後記

紙面の都合上、参加者全員の感想を掲載できませんでしたが、次号以降に掲載させていただきます。



四国地本から参加した青年女性員会の皆さん

青山侑馬(愛媛)

参加してみて感じたことは、林野庁という大きな組織にいるにもかかわらず、各局の情報はほとんど入っていないです。隣で何をしているのかが不透明なのは非常にもったいないと思いました。お互いの現状をさえ知ることができていれば、考えの幅も広がりますし、交流等も増えていくのではないかと思います。

組織討議資料

地本推薦候補の勝利に向けて 第20回統一地方選挙の取り組み

2023年4月に投票が行われる第20回統一地方選挙については、①都道府県と政令市の首長及び議員選挙は、4月9日投票開票、②政令市以外の市区町村の首長・議員選挙は4月23日投票開票の予定で行われます。各県議会議員選挙における地本推薦候補は、2月現時点で5名、各市町村議会議員選挙における分會推薦候補は、徳島分會推薦1名、香川分會推薦1名、四万十分會推薦1名、嶺北分會推薦1名、局分會推薦の1名となつていきます。推せん候補者の勝利に向けて組合員及び家族の皆さんのご協力をお願いします。

<県議会議員:地本推薦候補者>

Table with 7 columns: 県, 選挙区, 定数, 立候補者名, 現・新, 出身労組等, 政党, 該当分會. Rows include 徳島, 香川, 高知.

<市町村議会議員:分會推薦候補>

Table with 7 columns: 県, 選挙区, 定数, 立候補者名, 現・新, 出身労組等, 所属党派, 該当分會. Rows include 徳島, 香川, 高知.



全国の仲間とともにまなぶ参加者(東京都・林野会館)